

第9回検討会では、これまでの振り返りとともに、市道三溝線の工事状況の報告やサンライズストリートを活用した取り組み、ポケットパークの整備状況などについて、説明・意見交換を行ないました。

- 日時 令和5年2月17日(金) 15:30～17:15
- 場所 三溝公民館
- 参加者 地元自治会(神野自治会長会、三溝、新家、八丁畷) 九州電力、佐賀県、佐賀市(事務局)

■これまでの振り返り

○佐賀駅北口交差点の歩行者押しボタンについて

歩行者信号が押しボタン式であることをプレート掲出によって注意喚起したところ、通勤・通学の朝の時間帯や帰宅する夕方の時間帯は概ね100%押されていることを報告しました。

○道路愛称について

前回検討会での議論の結果と佐賀大学生へのアンケート結果を踏まえ、「サンライズストリート」に決定しました。

○ポケットパークの整備について

来場者の休憩スポットや、交流活動の拠点等としてポケットパーク等を整備する計画について、活用方法などの意見交換を行いました。

■報告事項

○市道三溝線工事の状況及び今後の予定

整備区間である約900mのうち、約260mの区間を整備しました。委員からは工事の完了の目途や、アリーナ開業時点での整備状況などの質問がありました。



整備完了区間



整備状況



■報告事項

○サンライズストリートを活用した取り組み

Vリーグ(バレーボール)、Bリーグ(バスケットボール)のホーム開幕戦に合わせ、佐賀駅からSAGAサンライズパークまでの道のりを「歩く」実証イベントとして実施した「サンライズストリートフェスタ」について報告をしました。

開催日時

- ・令和4年10月8日(土)、9日(日) <佐賀ブルーナーズ>
- ・令和4年10月29日(土)、30日(日) <久光スプリングス>
- 【ストリートフェスタ来場者数】約6,500人(4日間合計)



鎚流神社横の状況



商業高校前の状況

○佐賀大学芸術地域デザイン学部 研究発表

魅力あるサンライズストリートの形成に向けて「人々の活動を生み出すアイデアとデザインの提案」をテーマに、佐賀大学芸術地域デザイン学部の学生が研究成果を発表しました。

【日時】令和4年8月8日 15:00～17:00

【場所】三溝公民館(オンライン開催) 【聴講者】約30名

佐賀大学生のアイデア紹介

- 道路空間
 - …歩行者天国にしてスポーツイベントを開催
 - 行燈を使った夜間演出
- 交流施設(鎚流神社横の建物)
 - …「本」をコンセプトにしたコミュニティスペース
- ポケットパーク(佐賀商業高等学校西側の元駐車場敷地)
 - …コンテナサイズのカフェ、コワーキングスペース等の設置
 - ちょっとした運動ができる空間の整備
 - スポーツゲームのパブリックビューイング開催
- 佐賀駅北口広場
 - …期間限定のカフェやバーの開設

裏面あり➡

■検討事項① ポケットパーク等の検討状況について

【各施設の位置づけ】

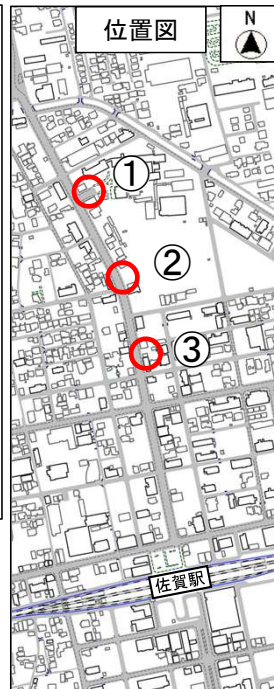
- ストリートを歩く人の休憩スポット
- ストリートを歩く人との交流活動の拠点

① 交流スペース（生徒のまちづくり活動への参画）

- 佐賀商業高校正門前スペースを整備し、イベント時等に生徒が学校活動を通じて市民や来訪者等と交流する活動の拠点として活用
 - 活用主体となる商業高校の生徒からの意見を整備内容に反映するため
 - ワークショップを実施
- 第1回「正門前スペースでやってみたいこと、そのために必要なもの」
- 第2回「新しくなる正門前スペースのイメージを掘り下げよう」
- 第3回「整備イメージ完成、正門前スペースに愛称をつけよう」
- 令和5年度整備予定



生徒によるワークショップの様子



② ポケットパーク（休憩機能）

- 市民や来訪者（歩く方）のための休憩所やキッチンカー等が配置できるスペースを整備。
- 面積：264㎡
- ベンチや植栽の配置、車両乗入用の舗装整備
- 令和5年度整備予定



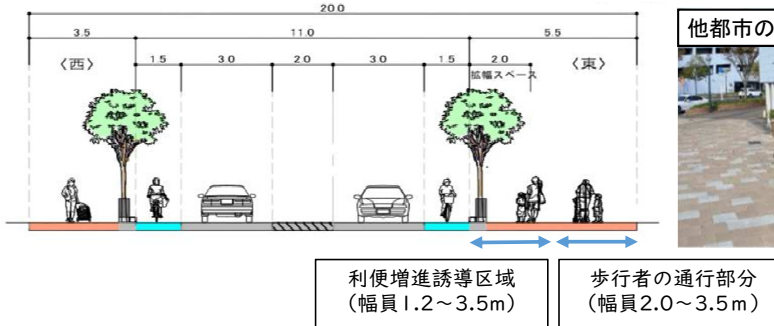
③ 交流施設（交流と休憩機能）

- 既存建物を改修し、1階に休憩所とカフェコーナー、2階に休憩やイベント等に利用できるスペースを設ける方向で検討中
- 施設の日常的な管理と活用方法について、関係者と検討中



■検討事項② 歩行者利便性増進道路（ほこみち）について

令和2年に歩行者利便増進道路（通称「ほこみち」）制度が創設され、歩道にオープンカフェやベンチなどを置いて、歩行者にとって便利で、にぎわいあふれる空間を創り出すことができるようになりました。佐賀市では、サンライズストリートにおいて制度活用に向け、佐賀県と協議を進めています。



■検討事項③ 歩きたくなる空間形成について

日常的に親しまれ歩きたくなる道路として、またSAGA2024国スポ・全障スポのおもてなしとして花が溢れ、賑わいと活気が感じられる空間になるような仕組みを検討中。
例) フラワーポット、ベンチ、地上機ラッピング、街路樹装飾等



■検討会で出された主な意見

【ポケットパークの検討状況について】

- ポケットパークにトイレが必要だと意見を言っていたが、今回の提案ではなくなっている。
- トイレをつくった後の清掃等が一番重要になってくる。作ることも大事だが、それ以上に管理していくことを考えることが重要。
- アリーナが完成した後は、トイレの数が不足することが考えられるため、代替案の検討は必要だと思う。

■事務局にて再度検討

【歩きたくなる空間形成について】

- フラワーポットの管理手法について調べたところ「緑の里親制度」というものがあり近隣の方がお世話をしたり、意欲的に取り組めるよう花壇コンクールを実施している事例があった。

～ 第10回検討会 ～

日 時 : 令和5年7月予定
場 所 : 三溝公民館

【発行・お問い合わせ】
佐賀市役所 佐賀駅周辺整備室
電話：0952-40-7009
E-mail：sagaeki@city.saga.lg.jp